

介護予防サポーター養成講座「いきいきライフセミナー」受講生募集

健康長寿あんしん課 地域包括支援センター ☎0978-62-3131/☎0977-75-2402

自らの介護予防を実践しながら、家族や地域に広めてくれる方を大募集します！

【申込締切】 10月6日(金)

【申込方法】

住所・氏名・電話番号と【対象者】①②③から希望の番号を電話もしくはFAXでお伝えください。

【申込先】

健康長寿あんしん課 地域包括支援センター

☎0978-62-3131 FAX 0978-64-2541

☎0977-75-2402 FAX 0977-75-1911



【対象者】

- ①介護予防や介護について学んでみたい方、地域で介護予防に関する活動をしてみたい方
- ②有償ボランティアに登録し活躍してみたい方
- ③介護予防サポーター協議会「ねこの手」に登録し、活躍してみたい方

※②希望の方は全ての回の受講が必須です。

【定員】 30人程度

【会場】 健康推進館、山香中央公民館(第4回のみ)

社会福祉協議会(第3回・第6回のみ)

【参加費】 500円(第4回調理実習材料費)

	日程	内容	講師
第1回	10月11日(水) 9時30分～12時	開講式 「杵築市介護保険の現状と介護予防について」 「接遇・マナーとコミュニケーションの技法について」	杵築市市民課介護保険係 別府大学 教授 佐藤 敬子氏
第2回	10月19日(木) 13時30分～15時30分	「運動～簡単にできるフレイル予防～」	介護老人保険施設 梅桃 理学療法士 河野 礼治氏
第3回	10月26日(木) 9時30分～12時	「地域で目指す自立支援について」 「高齢者の身体の変化について ～フィジカルアセスメント～」	株式会社ライフリー 代表取締役社長 佐藤 孝臣氏 ゼネラルマネージャー 長田 英一郎氏
第4回	11月2日(木) 9時30分～13時	「口腔～食力をつけて肺炎予防～」 「栄養～見過ごさない！高齢期の栄養管理～」	杵築市健康長寿あんしん課 歯科衛生士 青木 利美 大分県栄養士会 濱田 美紀氏
第5回	11月9日(木) 13時30分～16時	「難聴について」 「認知症～初期の段階を見過ごさないために～ ～地域で支える認知症～」	大分県言語聴覚士会 言語聴覚士 吉田 玲子氏 杵築市健康長寿あんしん課 保健師 秋吉 知子
第6回	11月16日(木) 9時～12時30分	「緊急時に必要な知識と対応～普通救命講習～」 「実習先の注意点 ～個人情報保護と守秘義務等～」	杵築速見消防組合警防課職員 杵築市健康長寿あんしん課 保健師 秋吉 知子
第7回	11月17日(金) ～24日(金) 13時～17時	「訪問の実際を学ぶ(訪問実習) ～尊厳・自立支援の視点を学ぶ～ ～軽度な生活支援の実際を学ぶ～」	各指定事業所 ・とどろきの里 ・菩提樹 ・ひまわり ・JAIこいの村 ・山香ヘルパーステーション
第8回	12月7日(木) 13時30分～15時30分	「地域で役立つレクリエーション」 閉講式	大分県レクリエーション協会 得丸 紀子氏

※講師の都合により講座の内容が変わることがあります。



U-18サッカー日本代表

あべ かいと

阿部 海大

東福岡高校3年生
ポジション DF

<経歴>

1999年生まれ。小学校2年生の時にきつきFCに入部し、中学ではスマイス・セレソン・フットボールクラブ(別府市)に所属。現在は東福岡高校サッカー部に所属し、U-18日本代表に招集される。

杵築市立東小学校出身で、日本サッカー協会(JFA)の2017年度U-18日本代表に選ばれた阿部海大選手取材しました。

「サッカーを始めたきっかけは何ですか？」

「学校の休み時間に友達とサッカーが楽しかったことがきっかけです。もっとサッカーをやりたいと思い、友達がいってきたきつきFCに入りました。」

「サッカーをしていて楽しいことやつらいことを教えてください。」

「チームで目標を成し遂げ

たとき、嬉しさを共有できることが楽しいです。うまくいかないことも多いですが、つらいと感じたことはありません。」

「サッカーノートをつけていると聞きました。」

「毎日の発見やいいなと思ったことを書き留めて、見返してプレーに活かしています。高2の春から書き始めて、今は2冊目になりました。」

「これからの目標を教えてください。」

「まずは全国高等学校サッカー選手権大会で優勝することです。将来的にはプロ

入りし、日本代表になって、海外で戦える選手になりたいです。」

「杵築市でサッカーをしている後輩たちに一言」

「サッカーが楽しいという気持ちが必要です。その気持ちはずっと持っていてほしいと思います。」



市長室から Vol.39

杵築市長 永松 悟

「ふるさと納税」を活用

9年前、総務省が始めた「ふるさと納税」は、自分が生まれ育った市町村や応援したい市町村に対して行う寄付制度です。

杵築市でも年々、寄付額が増加し、平成27年度は1億円、28年度は2億円を超え、県内で3番目の受け入れ額となっています。ご寄付いただいた方々に心から感謝申し上げます。

市では、この寄付金の一部を子育て支援に活用しようとして、今月から、子ども医療費の自己負担無料枠を拡大します。既に小学校入学前は入院費、通院費ともに無料、小・中学生は入院費のみ無料としていましたが、今回、通院費についても無料化することに

しました。「企業版ふるさと納税」を活用

また、杵築市では後継者不足や耕作放棄地の増加に悩む農業と、都会に就職したものの離職する率が高い児童養護施設出身の若者とを結びつけるために「企業版ふるさと納税」制度を活用しています。

昨年度から始まったこの制度は、内閣府が認定した市町村の「地方創生事業」に対し企業が寄付を行うと、6割相当額が法人関係税で軽減される制度です。昨年、杵築市も認定を受け、しかも認定102事業の中で4つの全国モデル事例のうちの1つに選ばれました。

この事業は今年で2年目を迎え、寄付企業は4社、協力農家も14に増えました。県内の施設の子どもたちも元気一杯、農家で実習に取り組んでいます。

杵築から世界へ 期待のDF